



「特別支援教育を考える」総合研究会

「特別支援教育」と高校教育

「Plant」に
研修履歴として
記録可



「教育実践は意図的で価値的な営みですから、教師の判断や働きかけに迷いや失敗が伴うのは当然です。むしろ、教師は目の前の子どもの姿を通して自らの迷いや失敗と真摯に向き合うことで子ども理解を深め子どもの願いにこたえる教育実践を進めていくことができるのです……。 (河合隆平)」

特別支援教育の 悩みは尽きない

発達障がいを持つ生徒の教育的ニーズに

対応する正解が見えない。

知識として理解はしても、

個々の生徒に向けて配慮のノウハウが

未だにつかめない……。

インクルーシブ教育は果たして

一教師が担えるのだろうか？

「評価」のための分析に捉われて、

生徒をまるごと受けとめられない

6.22 (日) 13:00～16:00

松本市勤労者福祉センター2-1 オンライン併用・参加費無料

講演 14:00～

講 師 河合隆平さん (東京都立大学)

東京都立大学人文社会学部准教授

全国障害者問題研究会副委員長

全国訪問教育研究会副会長

演 題 「特別支援教育」と高校教育

青年期の発達と特別な教育的ニーズ

教育の流れの中で障がいをどう理解するか

◆「特別支援教育」制度化までの障がい児教育のあり方と運動を進める取組を知り理解することで特別支援教育の受け止めが変わる。◆「子どもの権利条約」と同等の「障害者権利条約」についての真の理解が心理変化に繋がる。

◆先回りした配慮ではなく、発達の段階はそれぞれであることを理解したい。◆教育的ニーズは一律ではなく、一人ひとりを受けとめることから個別のニーズが見えてくる。

◆だから、特別支援教育を理解し実践するために、総合研究会で学ぶ。

報告 13:00～

報告① 原金二さん (障県協)

「長野県における障害者が置かれている現在の状況」

報告② 太壽堂雄介さん (全障研長野支部)

「小・中・特支学校における特別支援教育の状況と課題」

報告③ 宮澤まどかさん (長野県教育文化会議)

「高校からの報告」

教文
会議



主催：長野県教育文化会議 多様な学び生徒理解と発達研究会

←申込はコチラから

もしくはこちら→

TEL: 026-234-2216 HP: <https://kyobun-kaigi.org/> 「長野教文」で検索

特別支援教育の
尽きない悩みを
相談する

特別支援教育のこんなところがわからない、こんなことで困っている
いま、実際に課題に直面していて、どう対処したらいいかわからない、などなど
講師の河合隆平さんにお聞きしたいことがあれば右のQRコードから
可能な範囲で、総合研究会当日にご回答いただきます

